

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	11	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本来なら事業に対して専用の部屋があるべきだが、時間差で部屋を使うなどして、療育や相談を行っている。 ・指導室、相談室は利用表を記入、予約して共用している。 ・定員上限に近づけるべだと思う。 ・使用する物を置けるスペースも限られているため、狭さを感じている。 ・コロナ対策もあり小児科医の指導のもとスペース定員数を決めている。 ・保育室が足りない。狭い。応用しづらい。 ・訓練士がOTとPT合わせて3人いるのに訓練室が一つしかないので調整して使っているが時間が重なってしまう時はPTが廊下やホールで行っている。少し疑問に思う。 ・登園の曜日を考えている。別のクラスの部屋を利用している。 ・相談室が狭いので、常に整理整頓や教具等の置き場所、机や椅子の場所など、気をつけながら使いやすいように工夫しています。 ・訓練室や相談室の予約表を作り、ブッキングしないように工夫している。 ・肢体不自由のお子さんがあると福祉用具を場面で変えていくので狭い時がある。 ・乳児の部屋などが狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員とスペースの関係は適切であると考えますが、今年度はテラスに物置を設置するなど既存の施設を工夫して、より多くのスペースを確保するよう努めます。
	② 職員の配置数は適切であるか	14	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別のクラス分けなのでどうしても部屋（クラス）の定員と希望する利用者との数にばらつきが出てしまう。 ・国基準よりも職員の配置数が多く配置されている。 ・現在児童2名に対し職員1名だが、職員配置の基準について検討が必要。 ・他児童発達支援事業所と比較すると、多いと思う。民間のように少なすぎるのは避けるべきと思うので、検討すべき。 ・フォローをしあっているが、個々のニーズに合わせて対応を行うと、数は足りていないと感じる。 ・職員配置に偏りがある。 ・必要に応じて、各クラスに職員が別のクラスにはいるなど、工夫している。 ・こども2人につき、職員1人などの目安はあるものの、支援の必要度が個人で違うので一概に言えない。 ・個別対応を行わないと困難なお子さんもいるので、場面によって難しい。職員で話し合っって流動的に動いて対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置は適切であると考えますが、特定のクラスや職員に負担が偏らないよう状況に応じた対応に努めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する方の安全性を第一にしながら、わかりやすく過ごせる様に視覚支援等も取り入れている。 ・コの字形のため、伝達が難しいと感じることがある。 ・車椅子でも園内がすべて移動出来るようになっている。 ・部屋の大きさにも問題があったり、課題に応じた設備を工夫しているが、やりきれない部分もたくさんある。 ・ついたてを使用して空間を仕切ったり、集中しやすいように机や椅子の高さや配置を配慮するなどしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な環境であると考えますが、より使いやすくなるような工夫に努めます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で話し合いながら、常に子ども達の環境に合わせた設定をしている。 ・感染対策も含め活動後の清掃、消毒を毎日実施している。 ・清潔に努めているが、空間は狭いと思う。 ・毎日、園児の登園前から拭き掃除、降園後の掃除・消毒等を行なっている。 ・全体枠で考えてもらうなど話し合いをしている。 ・豊かな療育内容になるよう、バランスよく活動を組み入れて、さまざまな経験が出来るような療育プランを作成しています。 ・エアコンのフィルター清掃は、これまで保育士が業務後に行っていたが、業者に委託し完全に清潔な状態を保つことができています(費用はかかるが、その分業務に専念できる)。 ・遊びやすい工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な環境であると考えますが、より使いやすくなるような工夫に努めます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	24	7		<ul style="list-style-type: none"> ・会議等を行い、報告、連絡、相談は行う様になっているが、職員全体への周知が足りない部分がある。 ・事業所の在り方を考える会議を開催しはじめた。 ・市民のニーズに合わせて地域支援に力を入れるべきだか、そちらにあたる職員に限られている。改善したい。 ・時間を取るよう努力している。 ・定期的な会議での療育の反省と職員間の共有により、課題や設定の見直しを常に行いながら、療育内容を日々組み立てています。 ・報告、振り返り、今後の課題など日々行っている ・職員会議で周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画を用いての園児の支援、行事・係分担等において、PDCAサイクルで業務改善に務めています。今後も多くの職員がPDCAサイクルに参加できるような方策を検討していきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	29	2		<ul style="list-style-type: none"> ・年一回、保護者会より要望書が出されて、課題や改善を検討している。 ・アンケートをとり、業務改善できる限り行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	28	3			<ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口に報告書を配置するとともに、令和3年度分から市ホームページに掲載しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	22	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて外部評価の導入について、検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	30	1		<ul style="list-style-type: none"> ・外部への研修参加以外に園内でのオンライン研修も行っている。 ・全体研修はあるが、少ない。 ・一見すぐに必要ではない研修でも、基礎を地道に固めていける内容の研修を重ねさせてもらっている。 ・必ず研修報告を聴く機会やオンラインの研修も受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・指導者がやや少ない。 ・保護者のニーズを大切にしながら、アセスメントを丁寧に行って計画をたてています。 ・ニーズに寄り添いながらも、過大にも過小にも評価せずに、現在の姿から少しづつステップを上げていけるように、グループで話し合いを重ねて作成している ・保護者から振り返りを記入してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	23	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にわかりやすい内容になる様、書式を含め検討を重ねている。 ・用紙の見直しも行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では「支援記録」を使用していますが、今後は標準化されたアセスメントツールの導入について、検討していきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	1		<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園を通じてよりきめ細かくその場に適切な保護者支援を実施している。 ・家族支援では、保護者との信頼関係が築けるように、何気ない会話や自宅での困り事などいろいろなことが話しやすい雰囲気を作るようにしている ・必ず記入するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員以外にも所長、児童発達管理責任者含めて毎月の支援計画を確認している。 ・職員会議など話し合いの時間を取るようにしている。 ・個別の支援計画に添った支援ができているか、普段の療育+毎月の振り返りで確認しながら行っている。 ・クラス担任で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	30	1		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位だけでなく、乳児、幼児、通園部門全体での活動を行い、それぞれの企画立案に職員それぞれが担当する様にしている。 ・チームで考え合っているが話し合いの時間はあまり取れない状況である。 ・行事や季節、個人の課題なども踏まえながらグループで立案できている。 ・クラス担任で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	26	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で園児の様子を確認しながら、よりの確な課題が提供できる様に心がけている。 ・感触遊び等、タイトルが同じ課題だとしても、活動内容を積み重ねていける様工夫している。 ・月の計画などたてながら、全体でも確認している。 ・個々の好きな遊びを取り入れたり、発達段階をふまえた細やかな配慮を常に行いながら、様々な活動が体験できるように工夫しています。 ・他グループの活動プログラムも見て、新しいアイデアを取り入れてたりして工夫している。 ・年齢関係なく関わられるように工夫している。 ・活動内容がマンネリ化しがちな傾向を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた行事も活動の中に取り入れるなど、今後も子どもたちが楽しく通えるよう活動プログラムの工夫に努めます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	30	1		・クラス担任で話し合っている。	・今後も継続していきます。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	31			・朝の打ち合わせを必ず全体とクラスとでしている。 ・バス添乗や他の係などを担当する場合は、朝礼時の書記を確認して全体の予定などの把握をしている。 ・朝夕の会で全クラスの保育内容など周知している。	・今後も継続していきます。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	28	3		・毎日振り返るのは難しいが、気づいた点は、その日のうちに解決出来るようにしている。 ・クラス運営以外にも関わる業務も多く、それに向けての会議や打ち合わせもあるため、時間が割けない事も多い。 ・クラス担任で話し合っている。また、ヒヤリハットや良いことも全職員で情報共有している。	・話合いの時間を工夫しながら、今後も継続していきます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	30	1		・業務日誌等の書類の見直しをしながら、日々の様子をスムーズに記録できる様にしている。 ・毎日記録している。	・今後も継続していきます。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	30	1		・半期毎に見直しを実施している。成長度合が大きいので日々、月々でもその都度実施している。	・見直しの充実を図ります。
関係機	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	29	2		・クラス担任と児童発達管理責任者が出席している。	・今後も継続していきます。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	30	1		・親子教室の案内や来所相談、療育相談を行っている。また、保育所等訪問支援を行い、幼稚園や保育園に出向いている。	・今後も継続していきます。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	28	2	1	・主に保育園に通っている肢体不自由児が、週一回ペースで療育できるように併用クラスを設定している。また、保育所等訪問支援事業も行い、支援している。	・担当者会議で情報共有しています。今後も継続していきます。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	26	4	1	・看護師を中心に連絡を取る体制をとっている。 ・必要があれば、看護師が同行受診などを行っている。嘱託医も月2回来園し、都度巡回して診てもらったり、時期によって必要な情報を交換したりをしている。 ・看護師が、連絡をしている。	・職員と主治医は電話で、嘱託医と主治医は書面で情報共有しており、連絡体制の在り方について、検討していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	29	2		<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議を行なって情報共有共通理解をしている。 ・よりよく移行できるように、担任保育士や児発管が情報提供や情報交換をしている。 ・担当者会議をしている。 	・担当者会議で情報共有しています。今後も継続していきます。
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	29	2		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく移行できるように、担任保育士や児発管が情報提供や情報交換をしている。 ・担当者会議をしている。 	・担当者会議で情報共有しています。今後も継続していきます。
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	6		<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換したり、見学等している。 ・自立支援協議会に参加している。 	・必要に応じて他のセンター等と連携しています。今後も継続していきます。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	26	5		<ul style="list-style-type: none"> ・公立だけでなく法人との交流も必要。 ・保育所との交流保育を実施している。 ・保育園交流が再開され子どもたちの育ちのいい経験の場となっています。個別交流については、親御さんの気持ちを鑑みて寄り添った支援をしながら継続できたらいいと感じています。 ・感染症の状況を確認しながら行っている。 ・保育園交流が再開した。 ・保育園交流等、機会を設けている ・保育園交流も少しずつ始めている。 ・障がい児保育研究会の事業である保育園全体交流や、5歳児交流の実施が再開されて、市内の健常児と触れ合う機会が作れたのはとても良かったです。 ・コロナ以前まではいかないが、保育園訪問できる機会が増えた。訪問の度にいい刺激をもらえ、子どもたちの成長を感じている。もっと機会が増えて行って欲しい。 ・公立保育園に交流に行っている。 ・感染症予防のこともあり、交流の機会を増やすのが難しい ・幼児クラスは交流の機会があるが、乳児クラスはない。 	・新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したため、今年度から4・5歳児クラス通所児は公立保育園との交流保育を再開しました。今後も継続していきます。
	②⑨ （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	26	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が出席している。 	・今後も継続していきます。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察記録を確認し、細かく生活や健康、保護者の困りごと等を話している。子ども、保護者の表情や様子を確認する。 ・単独での登園時には、自宅での様子をノートに記入してもらったり、園での様子や食事、排泄の状況を記入して伝え合っている。親子登園時には、様子や自宅での困り事など聞き取りして支援に活かしている。 ・単独の時はノートを用いて伝えたり、必要に応じて電話をしている。 	・今後も継続していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	13	18		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレという形ではないが、日々の支援の中で、成長を確認しあい伝えている。 ・親子登園の場合は、支援時の声掛けや対応など保護者のペースに合わせて伝えている。 ・講座の紹介や、懇談会の時に話している。 ・ペアレントトレーニングの講習会などを増やせたら良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	㉑ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・必ず入園時に所長が説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	㉒ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	30	1		<ul style="list-style-type: none"> ・半期毎に見直しも加えながら実施できている。 ・年二回情報開示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	㉓ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、面談等を行っている。 ・保護者との信頼関係を大切にする。保護者の困りごとに寄り添う。 ・適時、面談等を行っている。 ・定期でなくとも、親子登園時に必要に応じて小面談を行うこともある。 ・適宜、面談を設けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	29	2		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでなかなか開催できなかったが、保護者会を開催している。 ・保護者会の活動についてもっと支援が必要なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が第5類の感染症に移行したことで、今年度は全体保護者会も実施しました。懇談会等は、同学年及び異学年の保護者が交流するよい機会と考え、センターの事業計画を考慮しながら、定期的の実施してまいります。
	㉕ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・必要なタイミングで迅速に面談を設定し、問題や悩みの解決に対応する。 ・面談を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	31			<ul style="list-style-type: none"> ・園だより。 ・園だよりを月一回発行して予定や行事などの周知を図っている ・定期的な園だより、クラスだよりの発行。行事毎のお便りの発行。 ・毎月の園だより、(不定期だが)グループの便り、行事前の臨時便りなど発行している。 ・クラスだより、園だより、保健だよりなど定期的に発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していきます。
	㉗ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	31				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も十分注意します。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑨ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	31			・絵カードや、ホワイトボードを使用。 ・日本語での手紙にカナをふったり、平仮名の手紙をクラスだよりにしたり、工夫しながら、みんなにやさしい支援が出来ると思います。所長や新座市が出している事務連絡文書にもカナを必ずふってもらいたいです。	・今後も継続していきます。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	14	11	・コロナ等の流行を受けて、交流の実施方法を検討していく。 ・民生委員・児童委員の視察研修の実施や老人福祉センターの駐車場を借りて年長児が花火などを行った。 ・感染症対策として近親者のみ。 ・コロナ禍で実施していなかったが、今後検討。 ・コロナ禍で地域に向けた行事等は一切できませんでした。今後は少しずつ広げていけると良いです。 ・感染性対応のため、地域住民の参加は原則ない。 ・現在、コロナ等感染症対策のため行えていない。 ・基礎疾患のある児も通園しており、コロナや感染症の危険性もあるため、実施できていない。 ・感染症予防のため行えていない。	・新型コロナウイルス感染症が第5類の感染症に移行しましたが、基礎疾患のある通所児が通う施設のため、基本的感染症対策は引き続き講じております。今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、地域に開かれた事業運営について、検討していきます。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	29	2		・策定中のものもあるが、訓練と合わせ、職員と保護者への周知をしていけるようにしていきたい。 ・現在作成中のものがある。 ・火災、地震、不審者対策の避難訓練を実施している。 ・十分ではない。 ・避難訓練を毎月行っている。	・防火・避難訓練を毎月実施し、今後も継続していきます。 ・各種マニュアルについては、職員研修会及び懇談会等で周知を図ります。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	30	1		・今後は福祉避難所としての訓練も行う必要がある。 ・毎月の避難訓練(火事、地震、不審者)、年2回の総合避難訓練(消防訓練)が実施できている。 ・毎月避難訓練を行っている。	・今後も継続していきます。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	31			・直近の常備薬、予防接種の情報など保護者から提供してもらい、看護師や担任保育士などで情報共有している。てんかん発作の児の把握を行い、坐薬を預かるなどしている。 ・入園時に看護師が保護者から詳しく聞き取りを行い、受診、薬の情報提供を受けている。	・今後も継続していきます。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	31			・アレルギー対応のメニューの作成、ワゴンを別にして受取り、トレーの色も変えている。 ・給食で除去食対応をしている。グループ内だけの把握ではなく、朝礼、夕礼で全職員に当日の給食が除去食かどうかの確認をしている。 ・医師の診断書を必ず記入してもらっている。	・今後も継続していきます。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	23	7	1	・事例集まではないが、毎日共有するようにしている。 ・事例集は確認できない。 ・帰りの会を設けて各クラスのヒヤリハットを確認している。 ・毎日、日誌に記録している。	・今後も継続していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	6	1	・年1回必ず実施している。自分の行動が、虐待にあたるかどうかのボーダーを都度振返って確認している。 ・毎年、虐待防止の研修を必ず受けている	・今後も継続していきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	31			・バス乗車時のチャイルドシート、食事時の工房イスなど、支援計画開示時に保護者に了承を得てから実施している。 ・必ず記載している。	・今後も継続していきます。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。